

地域未来投資促進法に基づく承認地域経済牽引事業計画

【事業計画】

AI/IoTの普及を進めるセンシングデバイスの検査装置生産拡大のための新工場建設

【事業者】

企業名：応用電機株式会社 相模原事業部
所在地：相模原市南区麻溝台8丁目18番46号
営業品目：半導体検査装置、計測機器の設計、製造等

【事業概要】

- 背景
 - ・半導体需要の拡大に伴い、センシングデバイスの検査工程で用いられる小型検査装置について、売上が伸びており、生産能力が限界となっている。
 - ・また、自動運転車の普及などに伴い、センシングデバイスの大型検査装置の需要拡大が見込まれているが、現工場では製造ができないという課題がある。
- 事業内容
 - ・大和市に新工場を建設し、関連する機械設備を導入することでセンシングデバイスの小型検査装置の生産拡大を図るとともに、新たに大型検査装置の製造を行う。
 - ・これにより、付加価値創出額2億1千万円を目指す。

新工場（完成予想図）



- 立地場所：大和市桜森1丁目4番9号
- 階数：地上6階建
- 建築面積：3,189.76㎡、延床面積：5313.67㎡
- 着工：2021年1月、竣工：2022年3月

新工場の特徴

- 設計、基板実装から大型検査装置の組立まで、一気通貫の生産体制を実現
- 最先端実装ラインを導入し、検査装置用大型高密度基板の実装を実現